

開催月日 : 平成 28年 12月 26日

平成28年度第3回
定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス連携推進会議

時間	am/pm 10:00 ~ am/pm 11:00	場所	かんだ連雀B2会議室
司会	浅見 達也	書記	尾崎 正紀
出席者	○千代田区高齢介護課介護事業指定係：●●●●様		
	○千代田区社会福祉協議会：●●●●●様		
	○千代田区高齢者あんしんセンター：高橋誠様(神田地区)		
	○千代田区かがやきプラザ：津留喜久江様		
	○医療機関：●●●●様(三楽病院)、●●●●●様(杏雲堂病院)		
	●●●●●様・●●●●●様(訪問看護ステーションHana-Kago・連携)		
	○知見を有する者：●●●●●様、上宇都紗香様		
	○地域住民の代表者：●●●●●様		
	○指定事業者		
	かんだ連雀いつでもサポートサービス：峯俊美、浅見達也、尾崎正紀		
会議内容	① 開会の挨拶 かんだ連雀：峯俊美		
	② 取り組み事例発表 かんだ連雀いつでもサポートサービス：尾崎正紀		
	③ ご出席者皆様よりご意見・講評		
	④ 閉会の挨拶 かんだ連雀：峯俊美		
詳細	② 取り組み事例発表		
	● 援助マニュアルを通して定期巡回サービスの理解を深める 実際の援助手順をご覧いただきどのようなサービスを行っているかを発表		

詳 細

① 開会の挨拶

かんだ連雀：峯俊美

○定期巡回をスタートしてから4年目となります。先ごろ多摩同例会70周年のシンポジウムを開催させていただき、事例報告として定期巡回の発表をいたしました。アンケートのご意見では、医療や町会が連携して在宅生活を維持していればいいとの感想を頂戴しました。定期巡回もその一部ではありませんけれども、在宅生活の継続の一端を担えるようなサービスになるよう邁進していかなければと受け止めた次第です。今後とも皆様のご意見・ご協力を頂くことが多々あると思います。あるいはご指摘を頂かないと、我々部署内の人員だけでは気付かない点も出て来ると思われます。この会では分からないことや、ご意見からより質の高いサービスに展開していく所存ですのでご協力のほど、よろしくお願い致します。

② 取り組み事例発表

かんだ連雀いつでもサポートサービス：尾崎正紀

○実際の援助マニュアル(手順書)からどのようにサービス提供しているかを項目ごとに順を追って説明する。援助手順以外にも援助目的、その他のサービス(定期巡回以外に利用されているサービスの一覧・医療との連携等)、生活における課題の項目を設定しており利用者の全体像を理解し、適切な援助につなげるよう意図して作成していること、援助に入った際に感じた問題点を追加していく、援助項目に反映させながら、日々新たに更新していることを説明。援助に入ったヘルパー一人ひとりがアセスメントを確実にを行い、ケアに対する共通認識を高めていかなければならない。

③ ご出席者皆様よりご意見・講評

● ●●●●●様：社会福祉協議会

○ODSには3回行かれていて、内2回が入浴ということですが自宅のシャワー室は利用されていないのか。またトイレは和式だそうです自立されていますか？

(→かんだ連雀 浅見) シャワー室、トイレとも共有になっていて他の作業員の方が出入りされているため、シャワー室はほとんど使用していない。トイレは和式ではありますが便器に直接座って使用しているので補助は必要ない様子です(誤った使用方法には問題がありますが)。2Fにポータブル・トイレの導入も検討しましたが、ご本人の強いこだわりがあり実施に至っていない。

● 上宇都紗香様：知見を有する者

○膝の痛みがあり、階段の昇降には不安がある。階段を降りたあとトイレまでの通路は暗くて危険を伴う。転倒のリスクが高くCMとしてもポータブル・トイレの導入を薦めてみたが本人からの強い拒否があった。うまく繋がっていかないというのが現状です。寒い季節にもなっていますので今からでも改善できればと思っています。

④閉会の挨拶

かんだ連雀：峯俊美

○今回発表したような個別のケースについて、定期巡回では勉強会を開いています。衛生は保たれているのか？本人の納得される仕組みとなっているのか？等検討しながら次の解決方法を模索しているところ。本人の尊重される在宅での生活を続けるだけで、施設入所を考えなくてよいのか？線引きをどこかでしなくてはならないのでは？といろいろ試行錯誤しています。この方の場合、在宅への強い意志がありますので現状では、より安全な在宅生活を継続できるよう努力してまいります。

○認知症で独居で身寄りのいない方はこれから増える傾向にあると思われます。在宅を継続するか、入所するのかという問いは今後も大きなテーマになってくると思いますので皆様にもご協力のほどお願い致します。

以上